



ご挨拶

DO-Jet工法研究会
会長 鈴木 宏

DO-Jet工法を取り巻く環境は、先行き不透明な世界情勢の中、石油製品を初め工事材料の高騰など、明るいものではありません。しかし、都市インフラの中でも下水道管路の役割は極めて高く、大都市における雨水排除機能の確保や増強、耐震性の向上を図るための再構築計画が進められています。

DO-Jet工法は、日本はもとより世界の土木技術の中でもオンリーワンの技術であり、トンネル事業の中でも最先端の技術です。この技術の活用により、社会貢献を行い、活躍できるように、尽力したいと考えております。

今後とも引き続き会員の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

鈴木宏会長のプロフィール

1968年3月 日本大学理工学部土木工学科卒業 同年4月東京都入庁(下水道局)/1996年 日本下水道事業団東京支社長/2001年 東京都下水道局長/2003年 東京都下水道サービス(株)代表取締役社長/2008年 下水道メンテナンス協同組合理事長/2025年12月 本研究会会長に就任 現在に至る

■ 施工現場紹介

○ 施工完了工事

工事名：浅草駅雨水貯留管工事

発注者：東京都下水道局

施工者：株式会社大盛工業

工事概要：泥濃式推進工法、推進延長L=291.95m

推進管呼び径φ1,500mm、掘進機外径φ1,842mm

土被り 26.10m~27.45m

DO-Jet施工時期 令和6年9月~令和8年1月

国道6号線駒形橋西詰交差点内の発進立坑から、東京メトロ銀座線を横断後、国道6号線内を都営地下鉄浅草線と並行して南下し、国道6号線と都営地下鉄浅草線を横断、既設蔵前幹線に到達（地中接合）する推進工事で、既設蔵前幹線（仕上がり内径2,400mm）への到達箇所は、隅田川に近接し、道路幅員が狭く、大深度での地中接合となり、地上からの地盤改良を行うことができないため、掘進機から地盤改良のできるDO-Jet工法とスライドフードにより、到達防護改良（0.8m×6スパン=4.8m）を行い到達しました。

また、地中支障物は想定していませんでしたが、国道6号線内で都営地下鉄浅草線が並行する箇所において支障物4箇所遭遇し、切断除去を行いました。

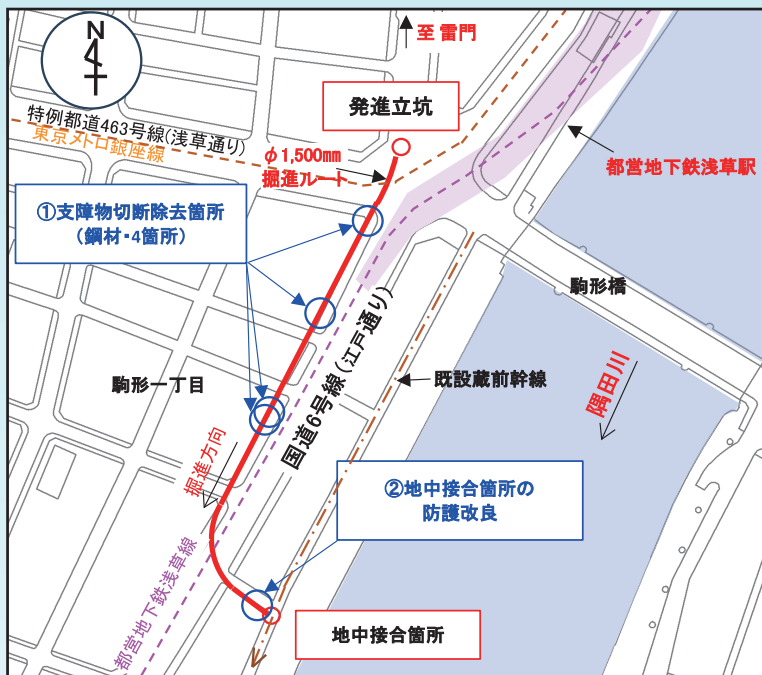
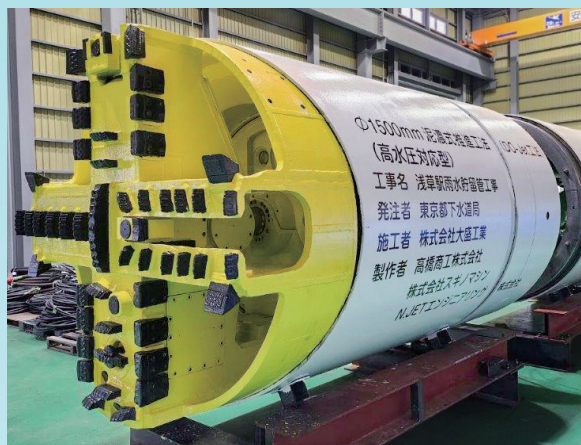


図-1 現場位置図



DO-Jet掘進機(スライドフード付き)



φ1,500mm 掘進機投入状況



回収された切断片

令和8年度 DO-Jet工法研究会 第22回定時総会

DO-Jet工法研究会の第22回定時総会が、令和8年6月23日(火)インテリジェントロビー・ルコで開催されました。

議案は、第1号議案の令和7年度活動報告および収支決算報告、第2号議案の令和8年度活動計画および収支予算、第3号議案の役員の改選が審議され、いずれも満場一致で承認されました。



地中支障物の切断除去及び地盤改良

本工事では、大深度(土被り約26.1 m)であったことと事前調査資料より、地中支障物は想定していませんでしたが、発進立坑から約45 m付近、約95 m付近、約147 m付近では2箇所の合計4箇所で地中支障物(鋼材)に遭遇したため、DO-Jet工法による前方探査、超高压地盤改良、支障物の切断除去を行いました。

また、切断後には補足改良を行い、地山の安定を図った後に掘進しました。

国道6号線内での施工でしたが、DO-Jet工法の前方向探査により、支障物の位置、形状等が判明できたため、国道、鉄道管理者、他企業等との協議もスムーズに進みました。

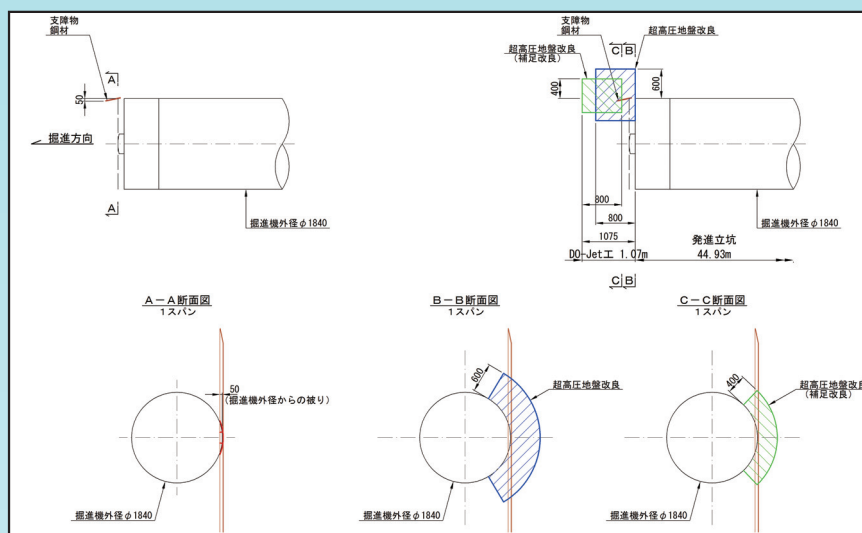


図-2 支障物1箇所目の地盤改良・切断概要図

DO-Jet工法の地盤改良とスライドフードを併用した地中接合

土被りが約26.1mと大深度であり、高水压下での地中接合となるため、掘進機にスライドフードを装備して施工を行いました。地中接合箇所手前からDO-Jet工法の地盤改良を6スパン行い、到達時にはスライドフードを押し出して既設蔵前幹線と地中接合しました。DO-Jet工法の地盤改良に加え、パック注入装置からのパック注入(瞬結型溶液材の注入)により止水することにより、接合時には、湧水は確認されず、スライドフードと既設幹線を鉄板で溶接して一体化させ、地中接合を完了しました。

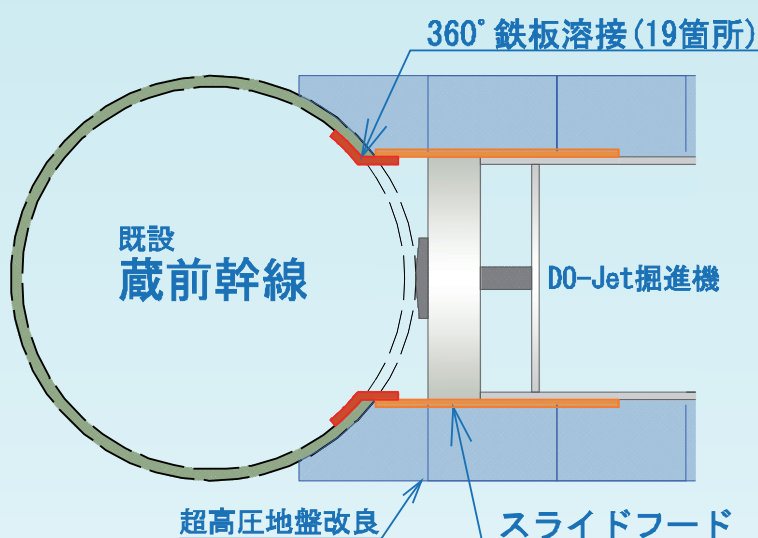


図-3 地中接合箇所地盤改良概要図



地中接合完了状況

お知らせ 2025年～2026年

2025年4月 2025年版技術資料発行
2025年版積算資料発行
2025年7月 令和7年度定時総会
2025年7月 下水道展'25大阪に出展
2025年12月 令和7年度臨時総会

2026年4月 非開削技術No.135に掲載
「ウォータージェットで切り開く未来
鋼材も切るDO-Jet工法/N.JET
エンジニアリング(株) 中黒 千澄」
2026年6月 令和8年度定時総会
2026年7月 会報No.16発行



DO-Jet工法研究会
ホームページQRコード

■ 施工中工事

工事件名	発注者	受注者	工法	DO-Jet施工概要
東大島幹線その2工事	東京都下水道局	R N建設(株)	泥土圧シールド φ2,790	地中支障物(H型鋼(H-300)2本)2箇所の切断除去及び防護改良、補足改良 4スパン 54本 地中支障物(流木等の木材)切断除去及び防護改良、補足改良 3スパン 17本 既設NTTとう道防護改良 L=17.6m 22スパン 176本
足立区千住関屋町付近枝線工事	東京都下水道局	東洋建設(株)	泥濃式シールド φ2,140	地中支障物(H型鋼(H-300)1本)1箇所の切断・除去及び防護改良、補足改良 3スパン 14本 掘進機残置箇所の防護改良 3スパン 46本
墨田区吾妻橋三丁目付近枝線工事	東京都下水道局	(株)大盛工業	泥濃式推進 φ1,650	既設幹線とのスライドフードによる地中接合と到達防護改良 6スパン 66本

■ 工法説明会の実施

公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 関東支部

2025年6月16日、公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 関東支部主催の令和7年度関東支部第1回技術講習会「管路再構築における非開削による更生技術と築造技術について」に本工法の説明を行いました。

工法説明はオンラインで行い、合計484名の参加がありました。

工法説明では、工法説明動画、開発の経緯、DO-Jet工法の技術、施工実績を説明し、説明後には質疑応答が行われました。

講習会終了後には、公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 関東支部から参加者にアンケートが実施され、アンケート回答を行いました。

東京都水道局建設部、横浜市下水道河川局においても工法説明会を行いました。



オンラインで 484名参加
公益社団法人 全国上下水道コンサルタント協会 関東支部 説明会

東京都水道局 建設部 説明会

■ 編集後記

昨年、埼玉県八潮市での陥没事故により、国土交通省では「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」を設置し、管路マネジメントに関する具体的方策を様々な角度から提言しています。それに併せて、今後計画される施設の複線化や強靱化に向けた施策等において、本工法が一助となれば幸いです。

(事務局)

DO-Jet工法研究会

事務局：〒103-0021

東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル5F

TEL：03-3278-6778 FAX：03-3517-5698

URL：https://www.do-jet-kouhou.com